

文化財保存と活用

－ 歴史遺産を現代にどう活かすか －

研究発表

◆「文化財の保存・活用の現状と課題」

宇野 慎敏 氏（特定非営利活動法人 北九州市の文化財を守る会）

遺跡を発掘調査すると重要な発見があります。その保存には様々な事情もありますが、文化財は国民共有の財産であるため、「価値のあるもの」は残さなければ過去の歴史が全く分からなくなってしまいます。山崎八ヶ尻前方後円墳や門司駅舎など 20 年後にはわからなくなってしまい、江戸時代の筑前と豊前の国境石がなければ旧国境界がわからなくなってしまうでしょう。

◆「郷土の建造物の保存と活用～大牟田市庁舎本館をめぐる～」

藤木 雄二 氏（登録有形文化財大牟田市庁舎本館の保存と活用をめざす会）

昭和 11 年建設の市庁舎本館は国登録有形文化財です。昭和 20 年 6 月と 7 月の大空襲からも焼失を免れ、昭和史とともに市民の記憶に定着している建物です。新庁舎の建設が優先されるなか、市民と支援者を巻き込んだ保存活用の取組を紹介します。

◆「伊藤伝右衛門邸に見る文化財の在り方」

尾崎徹也 氏（八幡郷土史会）

文化財保護には維持管理のための財政問題を伴う為、如何に集客し活用するかが課題となっています。郷土会、研究会の活動は、文化財に埋もれたストーリーを掘り起こし集客や活用につなげることで文化財保護の支援のかなめとなります。今回の発表では、伊藤伝右衛門と白蓮をモデルに、今や観光スポットとして定着した伊藤伝右衛門邸について紹介します。

期 日 令和7年 **6月28日(土)** 13:00～16:20 ※受付開始 12:30

会 場 **福岡県立図書館** 地下1階レクチャールーム（福岡市東区箱崎 1-41-12）

定 員 **80 名（先着順・事前の申込が必要です）** ※申込用紙は裏面

参加費 **無料** 主催 福岡県教育委員会
福岡県地方史研究連絡協議会（福史連）

第 58 回福岡県地方史研究協議大会 受講申込書

【 申込締切 】 6 月 2 0 日（金）※定員を超えた場合は締め切り前でも受付を終了します。

(ふりがな) お 名 前	()		
※該当するものに○をしてください。 () 福史連加盟団体所属 () 個人 () それ以外の団体所属 所属施設・団体名を記入 []	電 話		
	F A X		
	E メール		

★受講に関して配慮の必要な方は事前に御相談ください。

御記入頂いた内容については、当事業以外の目的で使用することはありません。

①②③のいずれかの方法でお申込みください。電話での申込は御遠慮ください。

① **F A X** : 0 9 2 - 6 4 1 - 1 1 2 7

この面をそのまま FAX してください。

② **インターネット** :

https://www2.lib.pref.fukuoka.jp/setting/page_20240416021328

スマートフォンのカメラで QR コードを読み込み

申込フォームから必要事項を入力してください。



③ **郵 送** : 受講申込書に必要事項を記入して、下記に郵送してください。

〒812-8651 福岡市東区箱崎 1 丁目 4 1 - 1 2

福岡県立図書館 ふくおか資料室 地方史大会申込 宛

※申込が定員を超えた場合は、受講できない方のみに御連絡します。

<同時開催>

◆第 17 回地方史フェア（福史連主催）

福史連加盟団体の刊行物の販売等を
レクチャールーム前のロビーで行います。

開催時間 12 : 30 ~ 16 : 30

お問合せ 福岡県立図書館 ふくおか資料室

福岡市東区箱崎 1 丁目 41 - 12

TEL 092 - 641 - 1126（直通）

FAX 092 - 641 - 1127



- ・地下鉄「箱崎宮前」駅から 徒歩 2 分
- ・J R 九州「箱崎」駅から 徒歩 10 分